

みんなで学ぼう  
鳥獣被害対策  
ちょうじゅう ひ がい たい さく

# えづけSTOP!

—— 地域ぐるみの「環境づくり」 ——

vol.5

## 「柵を張れば安心」はまちがい！

鳥獣害対策に取り組まれている地区で話を聞いてみました！

### ○集落ぐるみで徹底的に「嫌がらせ」をしましょう

収穫しない野菜、果実、生ゴミ、お供え物などの放置はえづけと同じです。すぐに回収するなどの処置をしましょう。また、ひそみ場をなくすなど、イノシシが嫌がる環境をつくるのが対策の第一歩です。自分の田畑は自分で守ると同時に、集落で歩調を合わせて田畑を守ることによって、イノシシはさらに集落へ近づきにくくなります。



菊池中央支所 営農課松岡課長 菊池市松島地区 横田 勇さん

菊池市松島地区では、電気柵・ワイヤーメッシュ柵を用いて地域で対策をされています。対策を行ってからは、被害を防ぐことができているとの事。柵の管理等については、地区の方が畑作業等で出られた際、壊れた柵を見かけたら横田さんに連絡があり、補修等を行っているそうです。農作物を守る為、地区全体で声をかけ合いながら鳥獣被害対策に取り組む事は、地域の安全を守る上でもとても大切です！

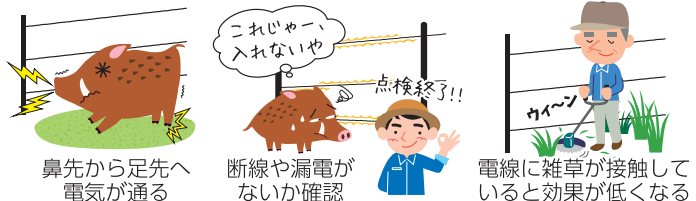
### ○「電気柵」を張ったあとも手入れをすることを心掛けましょう

電気柵で囲うのは重要な対策です。しかし安心はできません。わずかな隙間でもあればおいしい「エサ」を見つけて侵入してきます。電線に雑草が接触していると効果が低くなってしまいますので、雑草の手入れを怠らないようにしましょう。イノシシは鼻先以外、電気ショックを受けないことを忘れずに。



電気柵で圃場を対策

ワイヤーメッシュ柵を隙間なく設置



鼻先から足先へ電気が通る

これじゃー入れないや  
点検終了!!  
断線や漏電がないか確認

電線に雑草が接触していると効果が低くなる

### こんな時どうする？

ほ場の入り口など  
舗装の上を電気線が通る



金属の板(ハウスの谷に使用するトタンなど)を電気線の下に敷く



金属板の1カ所は必ず土に付ける

## 捕獲 ※狩猟、箱罠、くくり罠の設置には免許が必要です。

### ○被害が減らない場合には、捕獲について検討しましょう

捕獲をする際は、実際に被害を引き起こしているイノシシを捕獲しないと被害は減りません。

〔捕獲の際の留意点〕  
「ウリ坊だけ獲れた」「親イノシシは逃がした」ということになる、その親イノシシはワナへの警戒心が強くなり、ワナにかからなくなってしまう。

**注意** 「野生鳥獣は許可なく捕まえることができません」

野生の鳥獣は「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」で保護されており、原則として捕獲が禁止されています。ただし、農林水産物への被害防止の目的(有害鳥獣捕獲)等、許可を受けた場合は捕獲することができます。捕獲についての詳細は、各広域本部(地域振興局)やお住いの市町村窓口にご相談ください。

※慣れていない人だけでイノシシなどを探索すると非常に危険ですのでやめましょう。



被害を引き起こしているイノシシ

えづけによって、農地の作物を食べることを覚えてしまったイノシシ。



つかまえてやろう!!  
ゆるくない 危険

待て〜!

<鳥獣被害対策に関するお問合せ>  
お住まいの市町鳥獣被害対策の担当課  
もしくは県北広域本部農業普及・振興課 TEL:0968-25-4205

<記事掲載部署>  
営農部営農企画課 TEL:0968-23-3205  
出典元:みんなで学ぼう鳥獣被害対策 熊本県農林水産部農村振興局むらづくり課